

**日向東臼杵南部**  
**広域連合だより**

構成団体 **日向市** **門川町** **美郷町** **諸塚村** **椎葉村**  
ホームページ: <http://www.city.hyuga.miyazaki.jp/rengo>

**【第19号】**  
平成22年3月発行  
日向東臼杵南部広域連合  
〒883-0034  
日向市大字富高2192  
TEL(0982)53-3401  
FAX(0982)52-7889

平成21年度 見学に来訪した皆様  
平成22年3月5日現在

団体名	人数
美々津小学校	29名
塩見小学校	28名
財光寺小学校	85名
富高小学校	86名
北郷小学校(美郷町)	13名
日知屋小学校	57名
財光寺南小学校	66名
草川小学校(門川町)	65名
日知屋東小学校	103名
美郷町南郷区4小学校	50名
大王谷学園初等部	123名
平岩小中学校	27名
細島小学校	24名
福瀬小学校	12名
諸塚村3小学校	22名
日向中学校(体験学習)	4名
富島中学校(体験学習)	4名
財光寺中学校(体験学習)	6名
富島高校(インターンシップ)	4名
本谷区いきいきサロン	25名
宮崎県環境対策推進課	3名
北町2区高齢者クラブ神都会	25名
細島東部百寿会	20名
イオン九州(株)ジャスコ日向店	3名
長堀造園	3名
春原寿いきいきサロン	20名
生涯学習講座 遊学塾(門川町)	35名
(株)興電舎	6名
小崎小学校家庭教育学級(椎葉村)	20名
日向商工会議所一期会	20名
(株)興電舎	6名
中村えがお会	20名
幸脇公民館婦人部	20名
宮崎県公立小中学校初任者研修	13名
<b>合計 34件</b>	<b>1,047名</b>

## ようこそ 清掃センターへ



門川町生涯学習講座遊学塾の皆さん



中村えがお会の皆さん

毎年多くの方々が清掃センターを見学されています。本年度も千人を超える方々が見学においてになりました。そして、ごみの多さに驚き分別やリサイクルの大切さを肌で感じていただいています。

ごみ処理の現場を實際にごらんになってみませんか。見学は随時受け付けています。ご希望の方はお気軽にお問い合わせください。

なくならないな、  
ごみとご言葉

### ～おもな内容～

- P 2 ダイオキシン数値      P 4～P 5 議会だより
- P 3 平成22年度予算      P 6 広域連合の執行機関



## 施設の適正な管理・運営を推進しています ～ ダイオキシン類測定結果をお知らせします ～



清掃センターでは、広域のごみ処理施設として日向市、門川町、美郷町、諸塚村及び椎葉村で出されたごみを焼却しています。

こうした焼却施設は、法律でダイオキシン類

の測定が義務付けられ、結果を知事に届出ることになっています。測定結果は表1のとおりです。いずれも基準値をクリアし、適正に管理運営されていることが実証されました。

表1 清掃センターダイオキシン類等測定分析結果表

物質名	単位	基準値	平成21年度		(平成20年度)		
			1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	
ダイオキシン類	排ガス	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	5	0.033	0.2	0.032	0.070
	飛灰	ng-TEQ/g	3	1.3	0.52	0.29	0.82
	焼却灰	ng-TEQ/g	3	0.0015	0.00017	0.000053	0
一酸化炭素	ppm	100	4	1	2	4	
ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.15	0.024	0.016	0.120	0.079	
塩化水素	mg/m <sup>3</sup> N	700	150	100	21未満	69	

※ダイオキシン類の数値は毒性等量。



### 東郷霊苑も測定を実施 適正に運営されています

日向地区斎場東郷霊苑は、本圏域の唯一の火葬場として、平成17年度に供用を開始し5年が経過します。

1月に実施した排ガス測定の結果が表2のとおりです。

火葬場施設でのダイオキシン類の測定は法律では義務付けられていませんが、「火葬場から排出されるダイオキシン類削減対策指針」により、その適正な管理運営が求められています。そのため、東郷霊苑では年1回の定期分析を行い、適正な管理運営を進めています。

表2 日向地区斎場東郷霊苑ダイオキシン類等測定分析結果表

物質名	単位	平成21年度	(参考:平成20年度)
ダイオキシン類(排ガス)※	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.39	0.33
一酸化炭素	vol ppm	10	2
ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.010	0.071
塩化水素	mg/m <sup>3</sup> N	10	18

※新設施設では、排ガスにおけるダイオキシン類の指針値は、1ng-TEQ/m<sup>3</sup>Nです。

# 平成22年度の当初予算 7億6千800万円

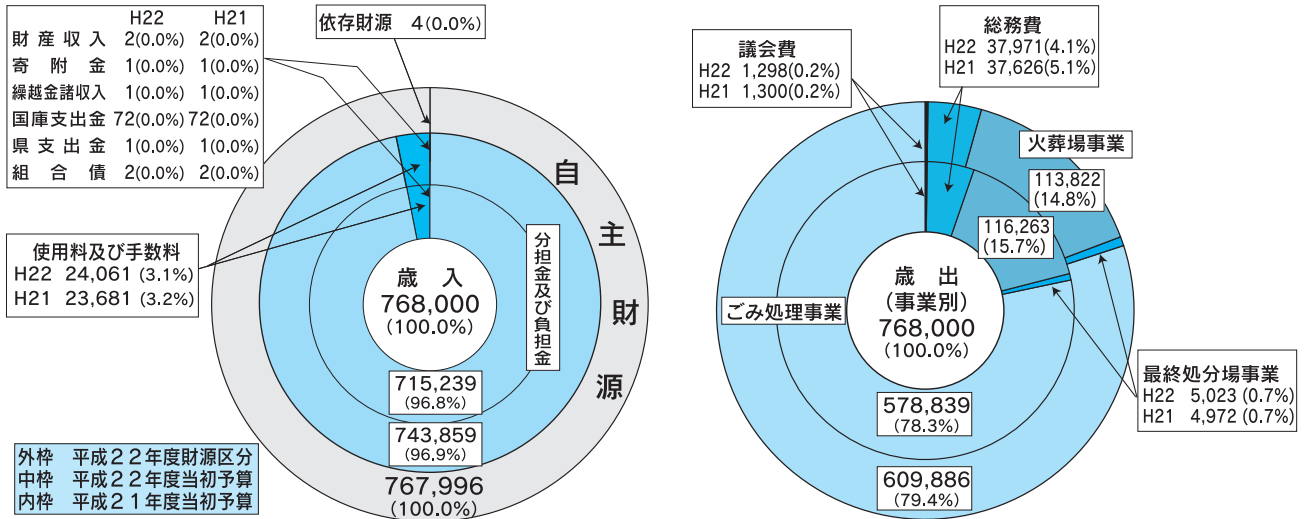
清掃センターの延命化長期計画に基づいて、整備を進めています。そのため来年度の予算は、前年度と比較して2,900万円(3.9%)の増額となりました。



日向地区斎場東郷霊苑

## 平成22年度 日向東臼杵南部広域連合予算

(単位：千円)



## 平成22年度の市町村別・事業別分担金の内訳

(単位：千円)

市町村	一般管理費	斎場(運営)	斎場(建設)	最終処分場	ごみ(運営)	ごみ(建設)	合計
日向市	20,263	10,601	41,865		197,999	121,018	391,746
門川町	8,090	3,767	13,350	2,765	66,504	35,906	130,382
美郷町	4,008	2,325	9,443	1,092	22,774	19,126	58,768
諸塚村	3,359	1,194	3,044	496	18,206	6,225	32,524
椎葉村	3,472	1,250	2,921	668	19,384	7,132	34,827
合計	39,192	19,137	70,623	5,021	324,867	189,407	648,247

## 平成22年度の主な事業

広域連合の事業の中から主な事業を紹介します。

- 斎場施設事業
  - ・ バグフィルター取替工事
- ごみ処理施設事業
  - ・ 1号・2号ガス冷却室耐火物改修工事
  - ・ 1号空気式減温装置改修工事
  - ・ 2号主灰出しコンベア取替工事 など
- 総務費

次期の広域計画の策定も予定されています。また、前年度に引き続きトイレ改修工事、事務局用機器を更新します。

広域連合は、構成市町村が共同して事務処理を行う「組合」です。

広域連合で行っている火葬場、最終処分場、ごみ処理施設の3施設は、生活に欠かせない大切な施設ばかり。そのための経費の大部分は、構成団体が拠出する「分担金」です。構成市町村から拠出予定の分担金は、**6億4,825万円**。よりいっそう効率的な管理・運営を進めてまいります。

# 広域連合議会だより



## 平成21年第3回議会

平成21年11月12日、平成21年第3回議会（定例会）が開催されました。

提出された議案は、平成20年度歳入歳出決算の1件でした。

平成20年度決算額は、歳入歳出額ともに、7億2911万1635円でした。

広域連合長が、清掃センターや東郷霊苑などの主な事務について説明をしたあと、決算審査意見書の説明では、林雄治代表監査委員から「決算書の計数は正確で、予

## 審議した議案とその結果

### 【平成21年第3回議会定例会】

- (広域連合長提案)
- 平成20年度日向東臼杵南部広域連合歳入歳出決算  
(認定：全員一致)

### 【平成22年第1回議会定例会】

- (広域連合長提案)
- 平成22年度日向東臼杵南部広域連合歳入歳出予算  
(可決：全員一致)

## 平成22年第1回議会

平成22年2月24日、平成22年第1回議会（定例会）が開催されま

算の執行状況は適正と認める」との報告がありました。その後、採決の結果、全員一致で認定されました。一般質問は、行われませんでした。また、議員の交代に伴い常任委員会委員の選任などが行われました。



議会会議録は閲覧できます

提出された議案は、平成22年度予算の1件でした。



選出市町村別、敬称略

議員	木田吉信	安田茂明	黒木円治	溝口孝裕	鈴木富士男	海野誓生	坂口英治	甲斐善重郎	安藤福松	黒木裕	太田穰	甲斐栄	日高壽次郎	西田喜一郎	松村晃三	那須清	椎葉邦博
議長			(日向市)	(日向市)	(日向市)	(日向市)	(日向市)	(日向市)	(日向市)	(門川町)	(美郷町)	(美郷町)	(美郷町)	(美郷町)	(諸塚村)	(諸塚村)	(諸塚村)
副議長																	(椎葉村)

広域連合議会議員名簿  
平成22年2月24日現在



副議長に安田茂明議員が選ばれました

平成22年度予算について、広域連合長が説明を行い、清掃センター焼却施設延命化計画が策定され、この計画に沿った予算であることや、前年度と比較して3.9パーセントの増額となっていることなどを説明し、採決の結果、全員一致で可決されました。その主な内容は表のとおりです。

また副議長選挙や、議員の委員会委員選任なども行われました。これらは、前の副議長の安田修さん（門川町議会選出）の辞職や、美郷町からの議員の任期満了による議員の選出によるものです。

副議長選挙では、門川町選出の安田茂明議員が選出されました。

なお、一般質問は行われませんでした。

**平成22年度予算が審議・可決されました**

平成22年度予算の概要

(単位：千円)

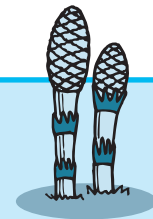
予算額	平成22年度	前年度(21年度)	増減額	増減率%	
合計	768,000	739,000	29,000	3.9	
事業別内訳	議会費	1,298	1,300	△2	△0.2
	総務費※	37,971	37,626	345	0.9
	火葬場	113,822	116,263	△2,441	△2.1
	最終処分場	5,023	4,972	51	1.0
	ごみ処理施設	609,886	578,839	31,047	5.4

※総務費には、予備費1,000千円を含む。

広域連合の議会は、年に3回開催されます。次回の議会は7月の予定です。

**清掃センターの延命化にご協力下さい**

目標は、燃やせるごみの排出量の20パーセント減量



○ごみ処理施設の寿命って？

施設の更新時期は一般的に稼働後15年とされてきましたが、近年では稼働後20年～25年を経過しても処理を行っている施設が多く見受けられるようになってきました。これは施設の耐久性の向上や、ごみ量の減少、燃焼時のカロリーの安定化などによるものです。

本清掃センターは、この圏域のごみ焼却施設として平成3年に稼働し19年が経過しました。この間、平成12、13年度にはダイオキシン類恒久対策を行い、また、適宜施設の機能回復整備工事を実施しながら施設の延命化を図ってきました。

○だから、ごみを減らすことは大切なんですね！

本清掃センターも更新時期を迎えているものの、施設を建替えるとなると、多大な費用が必要です。この費用の多くは日向市を始めとする構成市町村の負担です。そこで当面は、新たな施設の建設よりも、現在の焼却施設の延命化を図り、ごみ処理業務を行うことになりました。

また、新たな施設を建てる場合でも、その規模や建設費用は焼却するごみの量に比例します。ごみの量が減れば、より小さな規模の焼却施設でよいことになり、そのことは、建設費や維持管理費の削減につながります。

そこで、「焼却処理施設延命化長期計画書」を平成20年度に策定して、平成19年度の実績の20%を10年間で減量するという目標を決定したのです。ごみを減らすためには、各市町村を始めとして、住民ひとり一人のごみ減量化の取り組みが必要です。

○国でも、長寿命化などの方針が示されました！

平成20年3月に国が示した方針でも「国及び地方自治体の財政状況の厳しさはますます深刻化しており、既存の廃棄物処理施設を有効利用するため、施設の機能を効率的に維持することが急務」とあります。本清掃センターでも、施設の延命化計画を実施し、施設の有効利用を進めます。

# ちよつとブレイク

## ～広域連合と広域計画～ (その2)



日向東臼杵南部広域連合では、広域計画（平成18年度～22年度）に基づき事務事業を推進しています。平成22年度は平成23年度からの広域計画を策定します。現在の広域計画の内容をシリーズでご紹介しています。

### ○現状と課題、今後の方向性

広域計画書の冒頭に、広域連合の成果や課題、将来的な展望や方向性を明確に示すことで、事務の円滑な推進を図っています。以下がその主な内容です。

### いっそうの効率化で

#### 圏域住民の福祉の向上を

広域連合制度は、多様化した広域行政需要に適切かつ効率的に対応するために創設されました。

本広域連合においても、共同処理による効率化・合理化により、構成団体の厳しい財政運営の中で、財政負担の軽減につながっています。

また、構成団体の財政規模にかかわらず、最小の経費で均一化されたサービスが公平に提供されています。

今後、構成団体では、地方分権と、三位一体改革による地方交付税の見直しや国庫負担金の削減により、厳しい行財政運営を進めなければならない時代になってきました。

このような中、広域連合の運営にあっても、行財政運営のさらなる効率化を図り、圏域住民の福祉の一層の向上を図っていかねばなりません。

また、構成団体間で組織している広域行政研究会では、広域連合設立後も、新たな広域的な課題について研究を行っており、いくつかの課題が研究されています。広域連合においても、広域行政研究会と必要に応じ連携する必要があります。



広域行政研究会の先進地視察の様子



正副広域連合長会議を開催しました

### 運営協議体制や構成団体との連携の充実などを柱に

- 広域連合の運営協議体制の充実
- 構成団体との連携
- 広域連合の事務や負担割合の検証と効率化・公平化
- 広域行政研究会と連携した広域的課題研究

※広域計画の全文はホームページでご覧いただけます。(URL <http://www.city.hyuga.miyazaki.jp/rengo>)

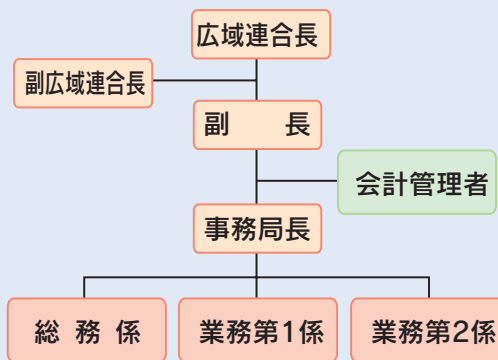
## 編集後記

春は出会いと別れの、また、新たなスタートの季節。お引越しの季節。多量のごみを出す際には資源物の分別をお忘れなく。(T)

通勤途中の通学路にもうすぐ、大きなランドセルをしょった新一年生の姿が。田植え準備もそろそろ。この景色にホッとします。(K)

は広域連合の職員は専任9人に加えて、日向市はじめ構成市町村の29人の職員が併任（兼務）しています。

### ○広域連合の組織図



副広域連合長 伊藤 惇一 (日向市副市長)  
 副広域連合長 椎葉 晃充 (椎葉村長)  
 副広域連合長 成 葉 充 (諸塚村長)  
 副広域連合長 菊田 孝孜 (美郷町長)  
 副広域連合長 曾川 彦市 (美郷町長)  
 副広域連合長 黒木 健二 (日向市長)  
 副広域連合長 黒木 健二 (日向市長)

### ○広域連合の執行機関

(平成22年3月31日現在)